

地域研究とキャリアパス —地域研究者の社会連携を目指して—

日下部尚徳

大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程 日本学術振興会特別研究員

○複数の地域研究者養成大学院を訪れ、教員の先生方や大学院生と、地域研究者が抱える課題を共有し、解決の方法を探るためのワークショップを開催した。長期的にはできるだけ多くの大学において実施することを予定しているが、本年度の開催校と日程は以下の通りである。

- ・大阪大学：2011年12月10日
- ・九州大学：2012年1月29日
- ・北海道大学：2012年2月4日
- ・京都大学：2012年2月7日

○上記訪問型ワークショップを踏まえ、2012年2月19日には上智大学にて、これまでに訪問した各大学および関東近郊の地域研究者養成大学院から参加者をお招きし、地域研究者を取り巻く社会環境や課題に関する現状把握と情報共有、問題解決にむけたアクションプランに関する活発な意見交換をおこなった。

○一連のワークショップを通じて、のべ100人以上の参加者と意見を交わすことができた。これにより地域研究者のネットワーク化と情報交換を促進し、社会に貢献する地域研究のあり方に関する議論を深めることができたと考える。本年度のワークショップでの問題提起をもとに、地域研究者のキャリアパスの可能性を拡大し、社会連携を促進するための活動を来年度も実施する予定である。



地域研究コンソーシアム次世代ワークショップ
「地域研究とキャリアパス
—地域研究者の社会連携を目指して—」

日時：2012年2月19日 会場：上智大学(東京会場)

主催：
地域研究コンソーシアム/ 京都大学地域研究統合情報センター/ 大阪大学大学院人間科学研究科グローバル人間学専攻/ 九州大学大学院比較社会文化研究院/ 九州大学全学教育改善・実施組織/ 北海道大学スラブ研究センター/ 上智大学アジア文化研究所/ 上智大学大学院グローバル・スタディーズ研究科地域研究専攻